

# KnowledgeDeliver 6.6 リリースノート

日頃は弊社 KnowledgeDeliver / KnowledgeClassroom をご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

本ドキュメントでは、KnowledgeDeliver の最新バージョン 6.6 と KnowledgeClassroom 2.6 の更新について説明します。

ご不明な点がございましたら、弊社サポートセンタまでお問い合わせください。

## 目次

下記、動作環境の更新・追加、機能追加、機能改善、不具合対応を行いました。

### 動作環境の更新・追加

- 1.1. 受講者 / 管理者クライアントの動作環境更新・追加

### 有償オプションの動作環境の更新・追加

- 2.1. Video+型コンテンツ機能の動作環境更新
- 2.2. レスポンシブデザイン受講機能の受講者クライアントの動作環境更新・追加

### 有償オプションの機能追加

- 3.1. AI Training+機能を追加（こちらはβ版になります。）

### 機能改善

- 4.1. テスト単元でイメージカタログが登録されている場合のパフォーマンス改善
- 4.2. メール送信機能のパフォーマンス改善
- 4.3. 複数のウィンドウで受講した際に受講回数制限を超えた履歴を送信しないように対応
- 4.4. ユーザ検索画面でロックアウトが自動解除されたユーザを抽出しないように対応

### 有償オプションの機能改善

- 5.1. レスポンシブデザイン受講機能でテスト単元の「1 ページに 1 問出題形式」機能に対応
- 5.2. レスポンシブデザイン受講機能で複数のウィンドウで受講した際に受講回数制限を超えた履歴を送信しないように対応

### 不具合対応

- 6.1. 実力テスト単元で制限時間に達した際に不正解でも「正解」として正誤判定されてしまう場合がある不具合

### 有償オプションの不具合対応

- 7.1. レスポンシブデザイン受講機能でテスト履歴画面に[問題]ボタンが表示され続けてしまう不具合
- 7.2. レスポンシブデザイン受講機能で Video+型コンテンツを再生した場合にシークバーで再生位置を変更することができない不具合

# 1. 動作環境の追加

## 1.1. 受講者 / 管理者クライアントの動作環境更新・追加

[受講者側 / 管理者側]

Windows10 Creators Update での動作に問題がないことを確認しましたので、Microsoft Edge のバージョンを更新しました。

- ・ (更新前) Microsoft Edge 38 / Microsoft EdgeHTML 14
- (更新後) Microsoft Edge 40 / Microsoft EdgeHTML 15

※ 2017年10月17日(米国時間)に Microsoft 社より提供されました Windows 10 Fall Creators Update におきましては、現在、確認中となっております。

また、今回のバージョンアップで受講者 / 管理者クライアントの Windows 10 に下記の Web ブラウザと、macOS に下記の OS を追加しました。

※ 教材作成クライアントには対応していません。

### 受講者 / 管理者クライアント

#### 対応 Web ブラウザ（追加分の Web ブラウザのみ記載）

- Microsoft Edge 40 / Microsoft EdgeHTML 15

#### 対応 OS（追加分の OS のみ記載）

- macOS v10.13 High Sierra

## 2. 有償オプションの動作環境の追加

### 2.1. Video+型コンテンツ機能の動作環境更新

[受講者側]

Windows10 Creators Update での Video+型コンテンツの動作に問題がないことを確認しましたので、Microsoft Edge のバージョンを更新しました。

- ・ (更新前) Microsoft Edge 38 / Microsoft EdgeHTML 14  
→ (更新後) Microsoft Edge 40 / Microsoft EdgeHTML 15

※ 2017年10月17日(米国時間)に Microsoft 社より提供されました Windows 10 Fall Creators Update におきましては、現在、確認中となっております。

## 2.2. レスポンシブデザイン受講機能の受講者クライアントの動作環境更新・追加

[受講者側]

Windows10 Creators Update でのレスポンシブデザイン受講機能について、動作に問題がないことを確認しましたので、Microsoft Edge のバージョンを更新しました。

- ・ (更新前) Microsoft Edge 38 / Microsoft EdgeHTML 14  
→ (更新後) Microsoft Edge 40 / Microsoft EdgeHTML 15

※ 2017年10月17日(米国時間)に Microsoft 社より提供されました Windows 10 Fall Creators Update におきましては、現在、確認中となっております。

また、今回のバージョンアップでレスポンシブデザイン受講機能の受講者クライアントの動作環境に下記の OS を追加しました。

- ※ 管理者クライアントと教材作成クライアントには対応していません。
- ※ 3G/4G/LTE 回線でのご利用の場合には携帯電話会社の容量制限などによる影響を受けて動作が遅くなる場合があります。また、無線 LAN (Wi-Fi) でのご利用の場合には環境構築時の設定や周辺環境などによる影響を受けて動作が遅くなる場合がありますので、導入環境で十分に検証の上ご利用ください。

### 受講者クライアント

#### 対応 OS (追加分の OS のみ記載)

- macOS v10.13 High Sierra
  - Android 7.1
  - iOS 11.0
- ※ iOS 11.0 で Video+型コンテンツが再生されない場合、「設定 > Safari > プライバシーとセキュリティ」から「サイト越えトラッキングを防ぐ」を OFF に変更してください。

## 3. 有償オプションの機能追加

### 3.1. AI Training+機能を追加

[受講者側 / 管理者側]

状況判断・内容把握をともなう、対話型トレーニングを実現する教材を作成する AI Training+機能を追加しました。

AIによる翻訳、読上げ、類似度判定など、AIを活用した音声教材を作成することができ、コンテンツ作成の負担を軽減しつつ、インタラクティブな学習を提供することができます。

今注目される、“英語4技能”対策の教育課題を解決するソリューションとなります。

※ β版でのリリースとなり、当面の間、無償でご利用いただけます。

こちらの機能をご要望の際は、弊社担当営業までお問い合わせください。

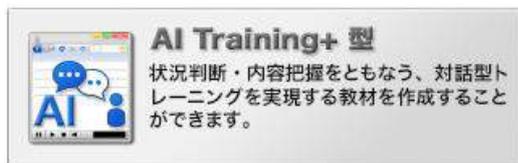
※ 「https://~」から始まるSSL環境でのみご利用いただけます。

※ 教材作成クライアント・受講者クライアントとも「Google Chrome」ブラウザをご利用ください。

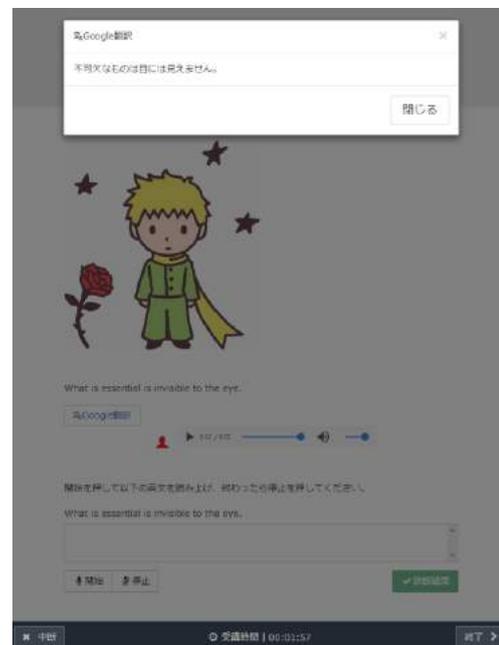
「Microsoft Internet Explorer」につきましては、一部のAPIに対応していないためご利用できません。

※ 英語/中国語の多言語オプションには対応しておりません。

コンテンツ作成者



受講者側



## 4. 機能改善

### 4.1. テスト単元でイメージカタログが登録されている場合のパフォーマンス改善

[受講者側 / 管理者側]

イメージカタログが設定されている文章型テスト問題コンテンツが複数割り当たっている 1 ページに全問出題形式のテスト単元で、受講画面を表示する際のパフォーマンス改善を行いました。

### 4.2. メール送信機能のパフォーマンス改善

メール送信機能で、大量のメール送信処理がサーバに負荷をかけないよう、パフォーマンス改善を行いました。

### 4.3. 複数のウィンドウで受講した際に受講回数制限を超えた履歴を送信しないように対応

[受講者側]

テスト単元、アンケート単元、レポート単元の受講画面を万が一複数のウィンドウで表示して受講した際に、受講回数制限を超えて履歴が送信されてしまう場合があったため、複数のウィンドウで受講画面を表示しても受講回数制限を超えた履歴が送信されないように対応しました。

### 4.4. ユーザ検索画面でロックアウトが自動解除されたユーザを抽出しないように対応

[ユーザ管理者]

「部門管理 > ユーザ管理 > ユーザ検索」画面で、検索ボックスのロックアウト項目を下記のように変更し、「ロックアウトされているユーザのみ(自動解除時間を経過しているユーザは除く)」チェックボックスが有効の場合にはロックアウトが自動解除されたユーザを抽出しないように対応しました。

・ (修正前)ロックアウトされているユーザのみ

→ (修正後)ロックアウトされているユーザのみ(自動解除時間を経過しているユーザは除く)

## 5. 有償オプションの機能改善

### 5.1. レスポンシブデザイン受講機能でテスト単元の「1 ページに 1 問出題形式」機能に対応

[受講者側]

レスポンシブデザイン受講機能で、Web 版と同じくテスト単元の「1 ページに 1 問出題形式」を受講できるように対応しました。

### 5.2. レスポンシブデザイン受講機能で複数のウィンドウで受講した際に受講回数制限を超えた履歴を送信しないように対応

[受講者側]

レスポンシブデザイン受講機能で、テスト単元、アンケート単元、レポート単元の受講画面を万が一複数のウィンドウで表示して受講した際に、受講回数制限を超えて履歴が送信されてしまう場合があったので、複数のウィンドウで受講画面を表示しても受講回数制限を超えた履歴が送信されないように対応しました。

## 6. 不具合対応

### 6.1. 実力テスト単元で制限時間に達した際に不正解でも「正解」として正誤判定されてしまう場合がある不具合

[受講者側]

順不同形式と完全解答形式で正解が複数設定されているテスト問題が割り当たっている実力テスト単元で、正解に設定されているいずれかの解答を一つ選択した状態で制限時間に達した場合、不正解でも「正解」として正誤判定されてしまう不具合を修正しました。

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 6.5 が対象となります。

## 7. 有償オプションの不具合対応

### 7.1. レスポンシブデザイン受講機能でテスト履歴画面に[問題]ボタンが表示され続けてしまう不具合

[受講者側]

レスポンシブデザイン受講機能で、テスト単元に割り当たっているコンテンツを削除した際に、テスト履歴画面に[問題]ボタンが表示され続けてしまい、割り当てを削除したコンテンツを表示することができてしまう不具合を修正しました。

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 6.2 が対象となります。

### 7.2. レスポンシブデザイン受講機能で Video+型コンテンツを再生した場合にシークバーで再生位置を変更することができない不具合

[受講者側]

レスポンシブデザイン受講機能で、Video+型コンテンツをHTML5形式で再生した場合に、Mozilla Firefox においてシークバーのスライダーの再生位置を変更しても反応しない不具合を修正しました。

こちらの不具合は KnowledgeDeliver バージョン 6.4 が対象となります。

以上